

## 割合の検定の標本サイズと検出力

1 標本または 2 標本の割合の検定の標本サイズと検出力を算出する方法は以下になります。平均の検定の標本サイズと検出力の算出については、[平均の検定の標本サイズと検出力を](#)ご参照ください。

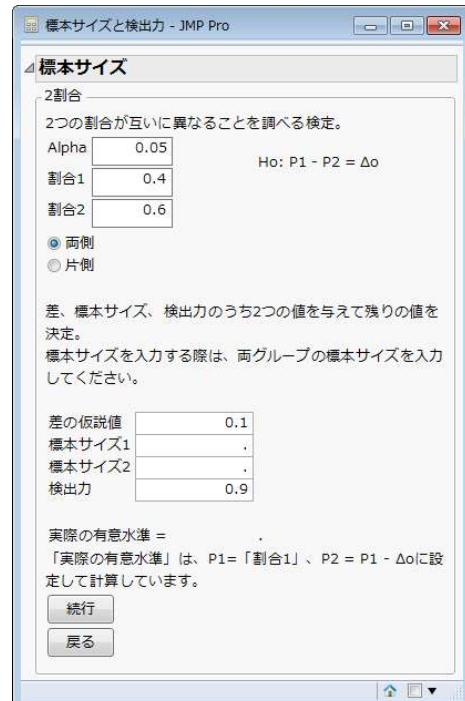
### 標本サイズと検出力 - 1 標本割合

- 実験計画(DOE) > 計画の診断 > 標本サイズ/検出力**を選択し、**1 標本割合**を選択します。
- 有意水準を **Alpha** に入力します(デフォルト値は 0.05)。
- 割合を入力します(真の割合もしくは想定される割合)。
- 検定のタイプを選択します:**両側**または**片側**。
- 次の 1 つまたは 2 つの値を入力します:**割合の仮説値**(帰無仮説の割合)、**標本サイズ**、**検出力**
- 続行をクリックします。
  - 2 つの値を入力した場合、JMP® は実際の有意水準の値とともに 3 番目の値を計算します。
  - 1 つの値のみを入力した場合、JMP は残りの 2 つの値の関係をプロットします。



### 標本サイズと検出力 – 2 標本割合

- 実験計画(DOE) > 計画の診断 > 標本サイズ/検出力**を選択し、**2 標本割合**を選択します。
- 有意水準を **Alpha** に入力します。
- 割合 1**と**割合 2**を入力します(真の割合もしくは想定される割合で、 $\Delta_0$  が想定される差)。
- 検定のタイプを選択します:**両側**または**片側**。
- 次のうちいずれか 2 つの値を入力します:
  - 差の仮説値**(帰無仮説の割合の差)
  - 標本サイズ 1**と**標本サイズ 2**(両標本サイズは同じ値である必要はありません)
  - 検出力**
- 続行をクリックします。JMP は残りの値と実際の有意水準を計算します。



注意: 全ての計算は正確な方法に基づいており、小さい標本サイズや割合に対しても信頼性があります。追加の情報については、ヘルプ>検索で「検出力と標本サイズの計算」と検索してください。割合の信頼区間にに対する標本サイズを計算するには、ヘルプ>サンプルデータ>計算(教育用配下)以下の内容をご利用ください。